

平成二十二年度

修士論文・卒業論文題目

大学院文学研究科

〈歴史学専攻〉

池田 遼一 「アウグストゥスの平和」とユ

リウス・クラウディウス家系の

関係について

磯村 翔平 戦国時代中期における墨家に関

する一考察

糸山 隆志 古典期初期マヤのティカル王権

についての考察 〈「エント

ラーダ」事件を中心に〉

土方 智史 参勤交代の実態と効能 〈大名

行列と行装の変遷を通して〉

和田 健志 豊臣政権と九州大名 〈豊臣期

から関ヶ原合戦を素材にして〉

〈文化財学専攻〉

友廣 美和 出土金属の修復を通じた製作技

法と用途な解明 〈半球状青銅

製品を中心として〉

森下 友晴 民俗学的観点から見た昭和30年

代 〈戦後転換期の子供文化〉

山崎悠都子

豊前下毛郡における仏教の受容と

展開 〈相原麿寺を中心として〉

史学科

〈日本史専攻〉

穴見 友紀 島原の乱

稲田 航希 豊臣秀吉による九州平定前後の

豊後

井上 洋徳 村上水軍 〈厳島合戦と参戦説

と非参戦説〉

井福 裕樹 戦国大名大友氏における領国支

配について

入江 裕介 岩倉使節団の条約改正交渉

上田 浩平 耳川の合戦について

植田 啓紀 日本近現代音楽史

上野 葉子 日本中世の女性史について

大石 和明 日英同盟の意義

大江志緒里 鹿児島県における神仏分離令の

展開

岡崎 亮 幕末土佐藩の変遷

岡本 幸恵 肥後藩校「時習館」の教育につ

いて

沖屋 雄大 「戦国三好政権」 〈篡奪・弑逆・

戦国大名〉

尾尻 祥直 秀吉と利家

小野絵莉和 喧嘩両成敗法の意義について

小野 優樹 武田信玄の生涯と人物像

柿内 聡宜 日本競馬の歴史

書川 孝子 近江浅井氏と織田政権

柿森健太郎 長崎県とキリスト教 〈伝来か

ら島原の乱まで〉

葛城 優也 小牧・長久手の戦い 〈関ヶ原

合戦を招いた戦い〉

加藤 健司 日本ならびに西洋における銃器

発達史の比較

上河内竜也 領国支配における戦国法の役割

河崎 俊哉 豊臣秀吉の政治体制と制度

川原 竜太 吉田松陰の教えが日本に与えた

影響

吉良 龍郎 現代社会の大衆文化に関する考

察

釘村 篤史 桃山文化がのこしたもの

楠原光次郎 七三一部隊の人体実験とその影

響

黒木 卓也 日向国における戦国期から江戸

期にかけての支配体制の変遷に

ついて

黒木 春菜 真田三代 〈幸隆・昌幸・幸村〉

幸野 直人 関ヶ原の戦い

- 五嶋 郁也 長州戦争について 小倉口を中心にして
- 小牟田 誠 相撲の歩み
- 小下 隆一 加藤清正と熊本城について
- 坂本 淳 古事記・日本書紀の成立
- 嶋津圭一郎 立花宗茂について
- 十菱 和平 親鸞の浄土観
- 庄島 裕貴 大阪城について
- 角 祐助 九州北部の武将について
- 瀬渡 創 三原城の変遷 築城から浅野時代まで
- 園田 翼 近現代の海苔養殖
- 大力 透 関ヶ原合戦・大坂の陣について
- 高崎 智則 集団自決から見た沖繩戦
- 竹永 光樹 加藤清正と熊本城
- 多田 篤 豊後国における庶民の生活の変化について 安土桃山から江戸にかけて
- 田中 真悟 行動から見る「政基公旅引付」
- 田中 大祐 山内一豊について
- 谷口 由貴 大奥について
- 種子田 俊 特別攻撃隊について
- 戸間 俊輔 大正政党政治史
- 戸間 亮輔 足利義満の王権篡奪について
- 豊田 靖裕 和霊騒動について
- 中西 秀樹 九州における近世城郭 黒田氏の城郭を中心に
- 中間 諒亮 安井息軒
- 那須 隆紀 明治・大正・昭和初期における民衆娯楽
- 西村 謙佑 関ヶ原の戦いとその後の家康
- 野田 竜治 国産二輪車と大衆生活
- 馬場 亮 九州織豊系城郭の築城と縄張り
- 濱本 竜祐 関ヶ原の戦い
- 正田 理沙 源平合戦についての考察
- 平川 寛 浅井長政の生涯とその後
- 深町 宣人 黒田如水について
- 藤 美紗子 神仏習合 神仏習合の変遷と宇佐八幡宮
- 藤木 貴博 中世から織豊期にかけての城郭の変化について
- 藤本 貴浩 石田三成と関ヶ原の戦い
- 藤原 雄貴 大坂の陣
- 船田真里子 藤崎八幡宮秋季例大祭について
- 堀切 修身 奥州藤原氏とその都市平泉
- 堀田 春 広島市の復興後の市民生活
- 堀之内勇太 征韓論の考察 西郷隆盛の見た日本の展望
- 本田 二郎 長崎県の教育と離島
- 松村 均美 武士道について
- 松本 悠輔 江戸時代の朝鮮通信使
- 的井 良太 近世社会と被差別民
- 御手洗喬広 高杉晋作の生涯
- 皆川 貴大 関ヶ原の戦い
- 南 隆大 関ヶ原の戦いにおける武将と軍師
- 村上万寿美 坂本龍馬暗殺の研究
- 安田 咲季 日本中世における肉刑について
- 矢野 真弓 明治5年公布の「学制」と大分県におけるそれへの対応
- 山内 翔太 坂本龍馬が影響を受けた人物とその生涯において形成された人物像
- 山口 明子 江戸時代の浪人
- 山口 高寛 鎌倉時代における朝幕関係の実態 承久の乱前後
- 山田 尚宏 織田信長
- 吉田麻亜沙 西南戦争勃発の原因
- 米倉加奈絵 悪党としての「海賊」と鎌倉幕府の禁圧について
- 和田 晃秀 徳川家康の家臣団について
- 渡邊 一貴 鎌倉幕府の成立について

〈東洋史専攻〉

飯尾 康幸 デリー・スルタン王朝時代のイスラム化

スラム化

衛藤 美羽 オスマン帝国におけるチュールップ時代

リップ時代

木原 美香 唐代官吏の左遷について

酒井健一郎 明代初期における宦官の活動

外交と軍事に焦点を当てて

下岡 誠治 ジャワのイスラームについて

杉森 健一 魏から晋への政権交代について

鈴木 諒法 北魏の漢化政策について

胡族固有の官職「大人」と尚書の分析をとおして

竹下 諒 インド大反乱とイギリス東インド会社の関連性

ド会社の関連性

富安 聡 現代中国における社会主義体制の成立について

ゾロアスター教の神話から見る意識の起源

西村瑠佑久 魏晋南北朝時代の貴族間における婚姻関係について

北魏政権下の漢人官僚

原 健太郎 魏晋南北朝時代の貴族間における婚姻関係について

北魏政権下の漢人官僚

松田 典子 魏晋における官吏登用制度の改革

丸子 智史 李氏朝鮮時代の両班について

三浦 史織 派閥闘争を四大士禍を中心に

見る

見る

彌吉 由依 唐と吐蕃の外交関係について

山口 智也 後漢末における宦官の動向

戚と宦官の権力闘争を中心に

山田 靖 イスラム側から見た十字軍

横道 亜矢 イスラム神秘主義について

渡部 咲耶 アンコール遺跡から見るアンコール朝の歴史

コール朝の歴史

〈西洋史専攻〉

伊井 利奈 フランス革命が服装に与えた影響について

18・19世紀の女性の服装を比較して

浦 隆裕 16世紀ヴェネツェア貴族の退の始まり

退の始まり

倉光 恭司 宗教改革におけるルターとエラスムス

ローマ帝政初期のイタリア農業の変容

佐倉 崇仁 「危機」をめぐる1世紀の

危機」をめぐる

立石 里恵 古代ローマにおける同性愛

友田 太 帝政初期における食料供給

久恒 龍三 コンスタンティヌス帝とキリスト教

ミラノ勅令を中心にして

三浦 剛 帝政末期におけるローマ帝国とゲルマン人

側面を中心に

山口 藍 チューター王朝期のイングランドと対外関係

メアリー・チューダーを中心に

山口 勤太 ドイツ中等教育におけるエリート養成

ギムナジウムとアビトゥーアについて

芳崎 保徳 10・12世紀ビザンツ帝国の軍事貴族について

貴族について

木村 直幸 古代マヤ古典期から後古典期、征服期における人身犠牲とその意義

日本刀の歴史上の変化と剣術の発展

佐藤 好珠 沖繩の洗骨葬

仲渡 勇氣 先王朝時代のナイル河の交易

葉山保奈美 イクニエンのアテンの宗教改革

原野 僚二 歴から見るマヤ人の文化

松浦 史尚 ハトシエプストについて

ジプトの女性

吉村 匠 古代メソポタミアの洪水伝説

三

三

三

三

三

三

三

三

三

文化財学科

〈考古学・埋蔵文化財専修〉

- 泉 江莉 大分県下の彩色古墳について
 筑後地方の装飾古墳との比較を中心として
- 李^い昇^{すよん}宴 17世紀の時代様相と原城跡から出土した鉛玉の産地
- 上野 僚也 16世紀末〜17世紀初頭における仏郎機砲の需要
- 衛藤 美紀 大分県内の細石器文化について
 大野川流域と筑後川流域の比較検討
- 奥 彩香 大友氏の軍制と城郭遺構に関する研究
- 小野 知恵 豊前の製塩土器
- 笠置 拓也 石見銀山における精錬異物の鉛同位体比
- 川口 貴也 中世府内町跡における古代遺跡の位置付けについて
- 木村 友彦 帝釈峡遺跡群における縄文時代の様相
- 久保田晋志 中九州における鉄器の組成に関する一考察
 弥生時代の阿蘇カルデラを中心として
- 末永 静 旧肥後国における中世城館の構

造と分布に関する研究

- 末廣 晃二 神籠石の役割とその成立過程
- 杉田 絵吏 隼人の領域に関する研究
 教と律令制の浸透について
- 竹本 成美 近世長崎における長崎交易の考古学的検証
- 田中 暁 西日本における方墳の広がりについて
 展開について
 周防灘沿岸を中心として
- 長迫 辰起 城下町出現期の研究
 織田信長の城下を素材として
- 中田 舞 弥生時代における陶埴の研究
- 中磨 勇太 九州における方墳の展開について
- 中村 知世 考古学に見る男と女
- 馬場 晶平 スイジガイの利用と地域の変遷
- 韓^はソルイ 琉球ガラスに関する科学的な研究
- 平間 勇亮 「地獄」の思想
 その変遷と造形
- 樋渡 陽香 北部九州における朝鮮系陶器窯の変遷について

〈環境歴史学・民俗学専修〉

- 朝原 泰介 妖獣 件
 その真相と解明
- 伊藤 秀哲 東南アジアの銀貿易
- 上田 美香 保戸島の祭礼行事
 島が生み出した民俗
- 于^う大林^{だりん} 日本刀の物語
 日本国宝としての日本刀の歴史と未来
- 江本 佳史 吉野川第十堰と人々の暮らし
- 王^き琰^{えん} 中国茶文化と日本
 その歴史と文化
- 大野 正人 別府温泉郷のこれからの観光
 地域住民によるまちづくり運動を中心として
- 緒方 諒平 緒方惟栄
 我が先祖は緒方惟栄か
- 黄^{わう}文^{ぶん}芸^{げい} 中国のお菓子
 歴史と文化を表すもの
- 孔^{こう}鵬^{ほう} 日本の酒文化
 酒と儀礼の観点から
- 齋藤 裕樹 筑豊の炭坑住宅の生活について
 筑豊の石炭の関わりと炭坑住宅で暮らす抗夫の生活
- 宋^{そう}星^{せい}群^{ぐん} 世界文化遺産地の麗江古城の保護模式と関連問題

高畑 寿広 吉四六・赤猫考 〔大分県人の
気質と文化〕

高宗 将 清和文楽 〔地方の伝統芸能に
ついて〕

竹村 雄太 臼杵磨崖仏の謎に迫る

羽野圭穂理 狼と日本人 〔狼と人との関わ
りを中心に〕

原田 裕子 高千穂神楽 〔地域社会から見
た民俗芸能〕

方^{ほう} 明^{めい} 春節から見る中国の変遷 〔改
革開放と人々の暮らし〕

宮川 亜也 大分県における町並み保存の研
究 〔豆田町と昭和の町を中心
に〕

山鹿 晃平 山鹿灯籠祭りについて 〔灯籠
と祭りが表すもの〕

山藤 未幸 石見神楽 〔地域の民俗芸能の
現状と課題〕

渡部翔次郎 中世鎌倉の家族社会